

<先進事例紹介>

「日置市での「よかんど（よい土）システム」について
～フードロスの堆肥化による地域資源循環の取り組み！～」

株式会社丸山喜之助商店 代表取締役社長 丸山明紀

～フードロスの堆肥化による地域資源循環の取り組み！～

- 日置市での「よかんど（よい土）システム」について -

日置市生ゴミ再生堆肥

よかんど！

環境にやさしい有機堆肥

『良かん土(よかんど)』=『良い土』

日々排出される食べ残しや売れ残りの食品(食品ロス)をリサイクルして作られた環境にやさしい有機堆肥。年間350トンものCO2排出削減を達成しています。

『有機JAS資材リスト登録証』を取得しました



GOOD DESIGN
AWARD 2022

花・野菜のための良い土をつくる

良かん土よかんど！

日置市生ゴミ再生堆肥

生ゴミをリサイクルしてつくられた環境にやさしい有機堆肥です

made in 日置市

肥料の品質の確保等に関する法律に基づく表示	
肥料の名称	よかんど
肥料の種類	堆肥
届出をした都道府県	新潟県
表示者の氏名又は名称及び住所	株式会社ヨカンド株式会社 新潟県日置市伊勢町木田1-1-1
正産量	10kg/20kg
生産した年月	年 月
原料	生ごみ(竹チップ及び木チップ)・堆肥
備考	生産に当たって使用された薬品の最大値である
主要な成分の有量率	
	窒素全量 2.5%
	りん酸全量 1.5%
	カリウム全量 1.7%
	有機質全量 48%

製造者 新潟県日置市伊勢町木田1-1-1 株式会社ヨカンド株式会社
販売者 新潟県日置市伊勢町木田1-1-1 株式会社ヨカンド株式会社

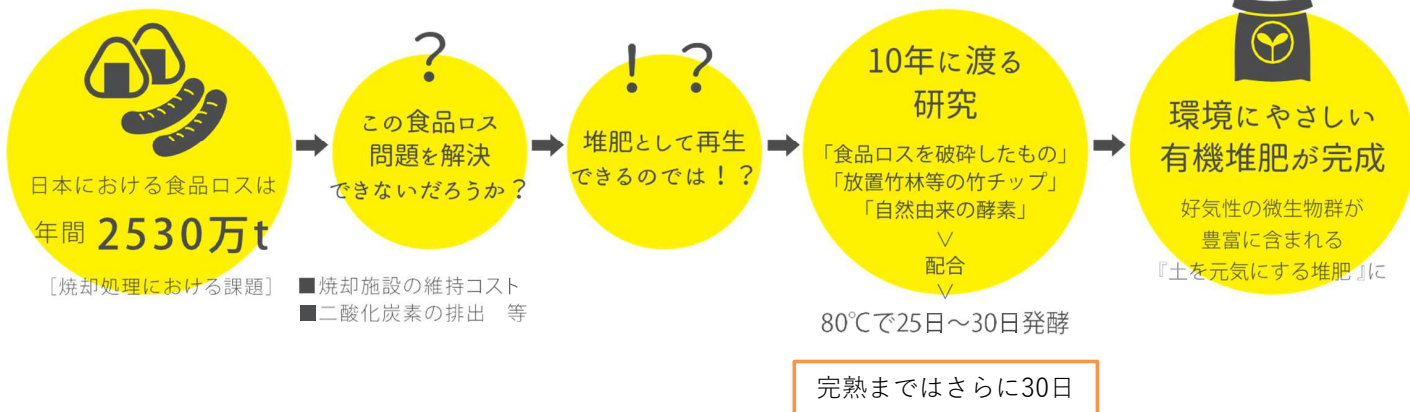
「よかんど」は鹿児島弁で「いいですよー!」という意味です

『よかんど！』誕生物語

はじめは日々廃棄物として搬入される『食品ロス』

弊社は産業廃棄物、及び一般廃棄物、また、店舗や事業所からの廃棄物等、様々な廃棄物を回収し、再資源化する創業106年を迎えた会社です。

その中でコンビニエンスストアやスーパー等から排出される食品ロスの多さに着目し、焼却処分せず有効活用する方法として堆肥化をするという方向で研究を進めてきました。



『よかんど!』の生成



『よかんどシステム』と日置市

自治体と連携してさらなる活用を

『よかんど!』システムを広く活用するべく地元日置市との連携へ

日置市への提案

「よかんどシステム」を広い範囲で活用するべく、「可燃ごみ焼却施設の負担軽減、およびリサイクル率を向上させる事業」として鹿児島県日置市の自治体にご提案。

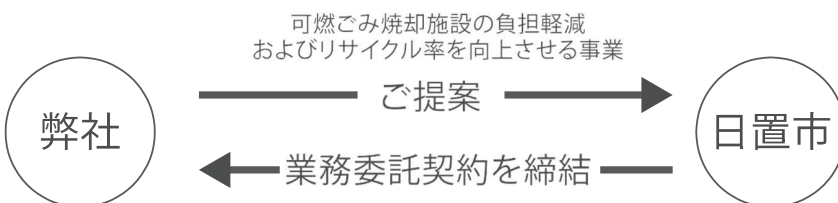
採用から業務委託契約へ

循環型で環境に優しく、持続可能な開発目標 (SDGs) に沿った取り組みとして採用となり、業務委託契約を締結、食品ロスの回収等を含め日置市と共同で事業開始。

生ゴミの回収

「よかんどシステム」専用の生ゴミパケツをゴミステーションに設置。日置市内の自治会 (約130) をブロックに分け、市の収集車とは別に弊社や各地域の担当業者が回収し「よかんどシステム」へ。

- ★24時間生ゴミを捨てることが可能に
- ★回収は可燃ごみ回収日の週二日



2012年 50世帯を対象にモデル事業を開始

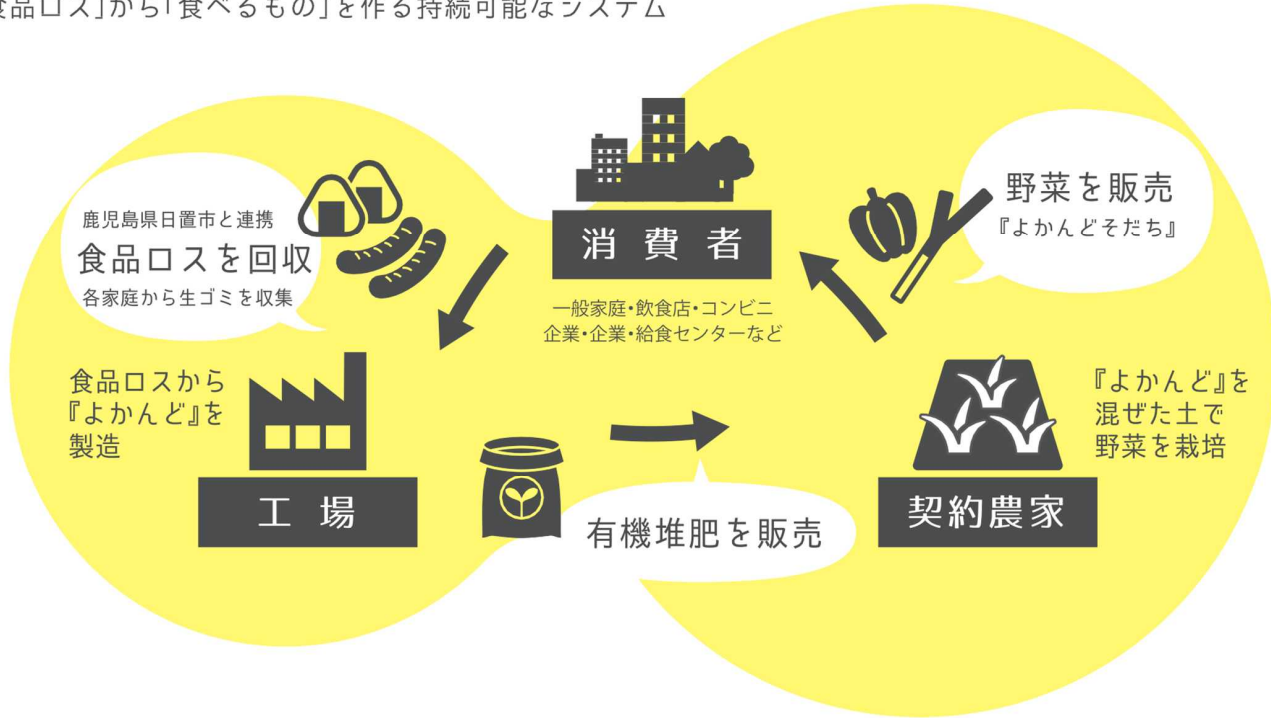
2015年 対象を日置市全域の約13,000世帯に拡大すると同時に日置市と業務委託契約を締結

2022年 4月より有機堆肥「よかんど」の販売開始

日置市の人口	:47,000人
対象世帯	:19,300世帯
生ごみ発生量	:約1,200トン/年
堆肥製造量	:約50トン/年
堆肥の売上実績	:約100,000円/2022年4月~5月
日置市全域のゴミステーション	:800箇所
生ごみ回収用のパケツ	:950個

『よかんどシステム』

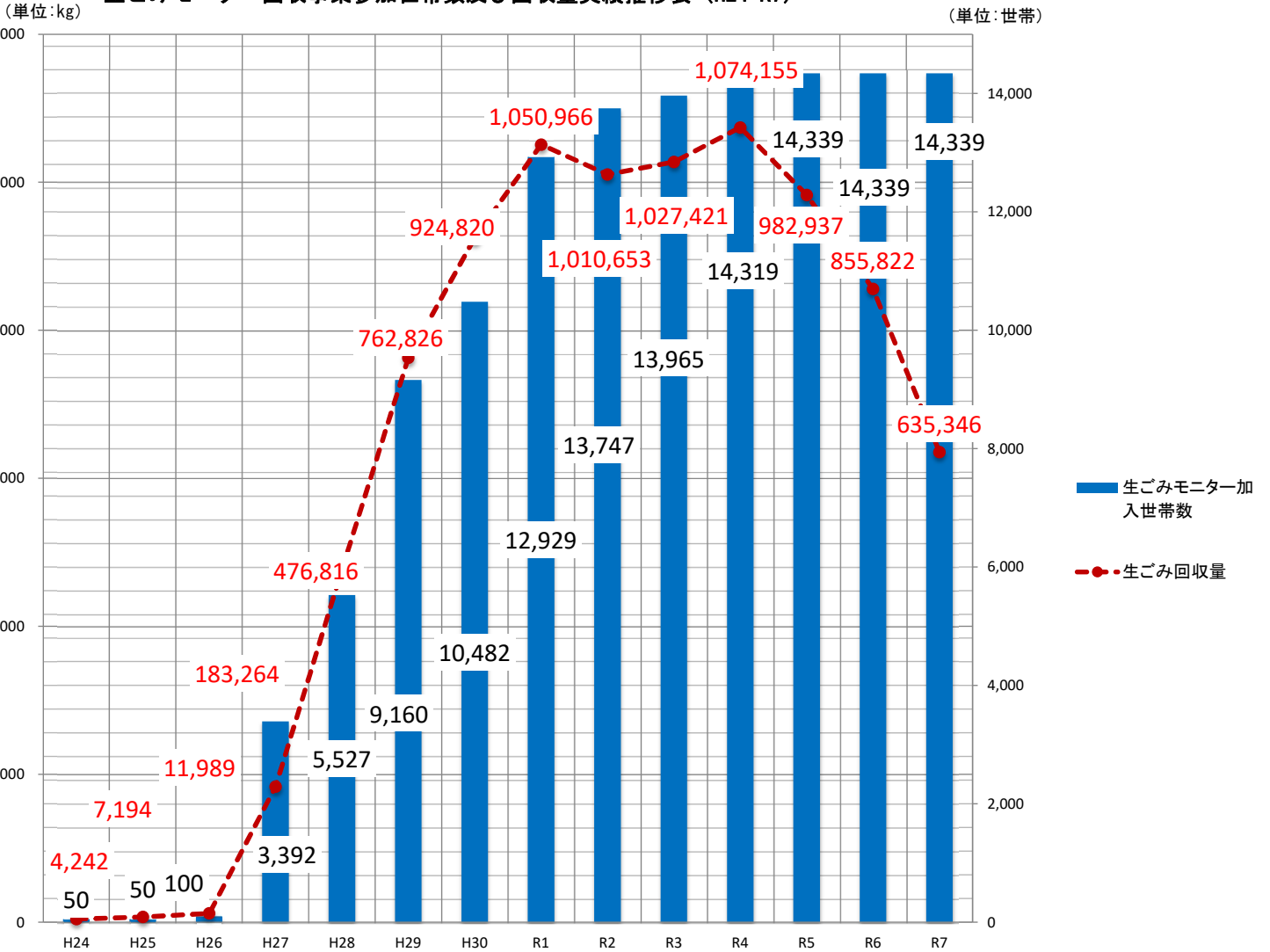
『よかんど!』をつくるシステムは
「食品ロス」から「食べるもの」を作る持続可能なシステム



この取り組みにより




→年間350トンものCO2排出削減を達成しました!

生ゴミモニター回収事業参加世帯数及び回収量実績推移表 (H24-R7)



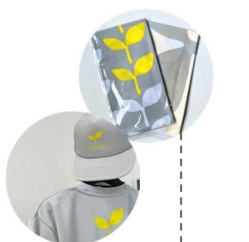
『よかんど!』でSDGs 『よかんど!』と活用するということ

食品ロスから食べるものをつくる
「よかんどシステム」の最大の魅力は
「人と環境にやさしい持続可能なシステム」
であるということ

-  フードロスの解消
-  安心安全で環境にやさしい農作物の提供
-  地産地消

よかんどクラブ
[契約農家]

『よかんど!』を継続的にご利用いただく生産者さんは『よかんどクラブ』の会員として認定され、情報交換やイベント出展等、様々な活動で連携をとっています。
会員特典:Tシャツ・キャップ・手ぬぐい 他



多くの方にご利用いただくために
「よかんど」は 1袋[10kg] 300円(税込)

「よかんど」を販売することによる収益よりも、日頃ご協力いただいている市民の皆様へ還元し、市民一人ひとりのリサイクル活動への意識を更に持っていただくことを最優先としています。

また、この「よかんど」をご利用いただくことで、市民の方々の活動が自ずとSDGsに取り組んでいることに繋がると考えており、農家さんを始めとする地域住民の方々、より多くの方々に「よかんど」を気軽にご利用いただき、その輪を広げていただきたいという思いからこの価格におさえています。

ブランド『よかんどそだち』

『よかんど』の畑で育った野菜は『よかんどそだち』として店頭に並びます。



3-12 食品残渣や竹チップを原料にした堆肥

鹿児島県日置市 2023年9月時点

農林水産省HPより

(株式会社丸山喜之助商店)

食品残渣

固形

市内

○ 株式会社丸山喜之助商店は、鹿児島県日置市内で発生した食品残渣、竹チップ及び糖液を原料とした堆肥「よかんど（良かん土）」を製造。※「よかんど」とは鹿児島弁で「良いですよ」という意味。

国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称 ■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

- ・生ゴミ
- ・竹チップ
- ・糖液



特殊肥料（堆肥）

よかんど

届出番号 鹿児島肥生 第196号

作物

- ・野菜
- ・果樹
- ・茶など

主成分の含有量（%）、特徴等

N	P	K	C/N比
2.5	1.5	1.7	10

有機JAS別表1 適合資材
登録番号 JASOM-22405

取組の経緯

- ・産業廃棄物及び一般廃棄物、また、店舗や事業所からの廃棄物など様々な廃棄物を回収し、再資源化する創業108年を迎えた会社。
- ・コンビニやスーパーなどから排出される食品ロスの多さに着目し、焼却処分せず有効活用する方法として堆肥化の研究を促進。
- ・環境保全に役立つシステムを広い範囲で活用するべく「可燃ごみ焼却施設の負担軽減およびリサイクル率を向上させる事業」として、日置市に提案し採用され、業務委託契約を締結。

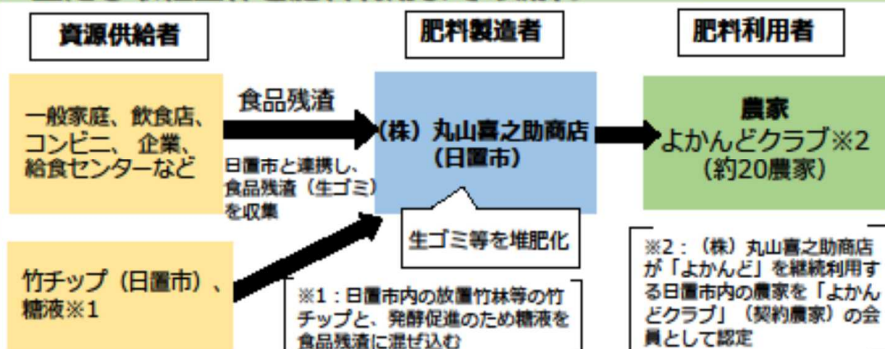
取組の内容

- ・「よかんどシステム」（自治体と連携して食品残渣から野菜を作る持続可能なシステム）は、循環型で環境に優しく持続可能な開発目標(SDGs)に沿った取組として、食品残渣の回収などを含め、鹿児島県日置市の自治体と共同で推進。

成果（見込み）

- ・食品残渣を焼却処理せず堆肥化したことにより年間350トンものCO2排出削減を達成。
- ・有機JASで使用可能な資材であることから、農家が安心して使用可能。

主たる取組主体と肥料利用までの流れ



今後の取組

- ・「よかんど」を通じ、食品残渣から堆肥製造までの過程を知ってもらい、循環型社会に向けた取組を今以上に展開。



・「よかんど」の商品パンフ

・よかんどを使用した農産物の販売

『よかんどクラブ』 取り組み



『よかんど』 の地域活用事例①

『よかんどファーム』での収穫祭

自社農園『よかんどファーム』にて
芋ほり収穫祭を行い地域との交流を！！

[参加団体]

アクアアカデミーNBの子供たち
農園近くのスイミングスクール

フラワーゴラッド鹿児島男子バレーボールチーム
日置市がホームタウンの男子Vリーグチーム

約50名の方が参加しテレビ局からの取材も！！



『よかんど』の地域活用事例②

学校花壇への寄贈・活用

日置市の小中学校に『よかんど』を使ってもらい
子供たちに『よかんど』知ってもらう！！

[目的]

学校給食の食べ残しが学校花壇に！？

日置市では学校給食の残飯も堆肥化を行っており、できた
『よかんど』を花苗と共に学校花壇に寄贈しています。

子供たちへ食育を！！

『よかんど』が子供たちや保護者が食品ロス問題について
考えるキッカケになり、家庭での分別意識が高まります。



『よかんど』の地域活用事例③

子ども食堂への食料支援

日置市の子ども食堂 4か所へ

『よかんどそだち』をお渡しして地域貢献！！

[支援食料品]

お米 15キログラム・深ネギ 3箱



企業版ふるさと納税の返礼品

生ごみリサイクル事業へのふるさと納税を行った
企業に対し返礼品として『よかんどそだち』を！！

[支援食料品]

深ネギ 合計 10束×100箱



『よかんど』の地域活用事例④

『よかんどそだち』が物産館に～日置福社会うめの里さんの場合～

『よかんどクラブ』の方々が育てた農産物を地域の人が手に取りシールを見た人が『よかんどそだち』って何だろう？と興味を持ってもらう！！

障害者支援センター「うめの里」では就労支援の一環で農業を行っている



『よかんど』を使用



弁当の製造・シールの貼り付け



物産館にて販売

『よかんど』の地域活用事例⑤

オール日置茶の製造に『よかんど』を

令和5年日置市茶業振興会が『よかんど』を使用した茶葉で製造した玉露『オール日置茶』を販売！！

[概要]

ASIAGAP を認証取得している日置市の16社の茶工場が『ASIAGAP HIOKI』を設立
台湾・米国をはじめとした海外への販路拡大
日置市農林水産課と協力し日置茶のブランド力の向上

[実績]

その年令和5年に製造した玉露は完売！！

一袋 3,000円での販売

『よかんど』の使用で肥料の吸収力が上がったとの好評



企業版
ふるさと納税



鹿児島県

ひ お き し

日置市

人口
約4.7万人

市長よりメッセージ

日置市では、企業版ふるさと納税（地方創生活援税制）を活用し、企業の皆さまからの寄附を募集しています。

企業の皆さまからの寄附を、人口減少対策や地域に活力をもたらすことを目的とした「第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる事業に活用させていただき、住み続けたいと感じるまちづくりを目指します。

また、日置市公式ホームページに企業名を掲載させていただくとともに、感謝の気持ちを込め、本市からの感謝状をお送りしております。

選ばれるまち「働いてよし 住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれてよし」の形成に向けて、ご賛同とご理解をいただき、寄附をご検討くださいますようお願いいたします。



日置市長 永山 由高氏

ACROSS HIOKI
資源循環フラザ アクロスひおき



寄附募集プロジェクト2

生ごみ回収事業

総事業費 6,000万円
寄附目標金額 6,000万円

ごみを焼却処理するために、多額の税金を投入し続ける事、そこから排出される大量のCO2を、市民を巻き込んで減らすことは出来ないだろうかと取組を始めた日置市生ごみ回収事業は、10年目を迎える市民の生活に無くてはならない事業として定着しました。微生物の活動を利用し、生ごみを焼却することなく、堆肥として再生利用することで、環境への負荷を大幅に軽減でき、その活用によって様々な活動が広がることを最終的な目標として取組んでいます。この事業で「農業の振興」や「雇用の創出」、「堆肥を使った作物で食育を行う」など生ごみリサイクルという1つの取組により、良い波及効果が出ています。



プロジェクトの特徴やアピールポイント

日置市生ごみリサイクル事業は、最も身近で取組みやすい事業として市民から親しまれており、年間1,000tを超える生ごみを焼却することなく堆肥として再生利用しています。

台所から発生する廃食用油も生ごみと一緒に堆肥として再生することで、より良質な安定した堆肥に再生できる事を可能にしました。

この事業によりCO₂排出量を年間350t程度抑制でき、また、化石燃料を使わない事も地球環境への負荷軽減に大きな効果があると言えます。

市民が、この事業を通してSDGsの取組を実感すること、形になって還元されることに最大の良さがあります。



担当者の声



進む地球温暖化問題を解決するため、日置市は市民と一丸となり、先ず自分たちにできること、「生ごみを焼却しない」という選択をしました。市民の皆様の多大な御理解と御協力により、この事業が成り立っていると断言できます。地球規模から捉えれば小さな取組ですが、土台が安定しなければ積み上がるものもグラついてしまいます。現在まで約5500tもの生ごみを焼却することなくリサイクルできたことは、日置市の誇れる事業になりました。御協力いただける企業様と一緒に情報を共有しながらより良い地球環境を構築できたと思います。

(担当：日置市役所 市民生活課 久木崎 健氏)



資源循環プラザ「アクロスひおき」 整備運営事業の概要

- ・施設設置企業
株式会社 丸山喜之助商店 代表取締役 丸山明紀
- ・施設運営企業
株式会社 センカンドマネジメント 代表取締役 丸山明紀
(丸山喜之助商店グループ会社)

経緯・事業内容・目的

現在の日置市クリーンリサイクルセンターは施設の老朽化に伴い、施設更新が必要な時期となっております。

一般的には自治体のごみ処理施設は公設公営での運営が定番ですが、本施設は日置市の更なるごみ減量化を目指したいとの要望と、当社の永年に渡る民間企業のノウハウを融合させた、全国でも類を見ない民設民営方式の施設となります。

本施設は、日置市の一般市民から持ち込まれるごみの受け入れ施設としての役割を担うとともに、中間処理及び中継基地の機能を有する施設となります。

資源ごみ、不燃ごみ、粗大ごみにおいては、当施設で中間処理を行い、最新のプラントと当社の持つリサイクルノウハウを用いて、可能な限り再資源化することで更なるごみの減量化を図っていくものです。

※本施設は日置市のプロポーザルに当社が応募し、日置市から選定された施設となります。

6



5



Plastics
Smart